

会誌・会報委員会

一 発行のねらい

小県上田教育会機関誌として、会誌・会報の編集発行を通して、教育会の事業内容を会員に紹介する。また、会員の論説・研究・随想などを適宜掲載し、相互の理解や研鑽の場を提供する。

二 編集方針

1 会報「上小教育会報」269号、270号の発行

- (1) 上小教育会の決定事項、事業の内容や会暦等を会員に報告する。
- (2) 学習指導委員会・調査研究等委員会の計画と研究の歩みを掲載する。
- (3) 教育現場における今日的課題やあり方等の会員の意見を掲載する。
- (4) 会等を考慮して、会員に依頼した執筆原稿を掲載する。
- (5) 前会員、郡外の先生方からの寄稿も掲載する。

2 会誌「上小教育」69号の発行

- (1) 教育会総会、菅平夏季大学、論説、研究、教育実践、随想、同好会の歩み、支会だより、会暦、視察報告等を掲載。
- (2) 支会、学校等を考慮し、執筆原稿を集め掲載する。

※会報・会誌共に、教育の専門職に携わる教職員の機関誌にふさわしい、質の高いものにする。

三 発行と発行内容

1 会報「上小教育会報」269号 8ページ 令和7年7月18日発行

○巻頭言 職能の向上と上小の教育・文化の発展を目指し、新たな一步を 中野 裕頭 会長

○退職者だより

・感謝の気持ちをもって 青木 辰夫 先生

・つながり合い・学び合い 吉澤 基 先生

○退職者・感謝状贈呈者

○今年の抱負

○「新会員の抱負」「上小教育会総会～会員意見発表、講演会感想」

「教育の広場」「新入会員教育懇談会参加報告」を掲載

○学習指導研究委員会・調査研究等委員会の研究計画、委員名簿、上小教育会役員・年間計画

2 会報「上小教育会報」270号 8ページ 令和7年12月12日 発行

○巻頭言 現場の経験を重視した学びのために 宮下 哲 副会長

○菅平夏季大学感想

○学習指導・調査研究等委員会研究報告

○「教室の窓」 を掲載

3 会誌「上小教育」69号 令和8年3月上旬発行予定

○巻頭言 中野 裕顕 会長

○教育会総会

講演 『一人ひとりがみんなたいせつ～作品に託す願い～』 くすのき しげのり さん

○菅平夏季大学感想

歴史 「上小地域の虚空蔵山」 笹本 正治 先生

芸術 「自己啓発と落語噺について～他落語一席」 立川 談慶 師匠

教育 「子ども『が』変わる接し方」 田中 博史 先生

哲学 「木村素衛の教育哲学－「一打の鑿」と「林檎の素描」－」 西村 拓生 先生

科学 「長野県の地形と地質－石ころから読み解く大地の生い立ち－」 竹下 欣宏 先生

○郡外通信

○以上の他に「論説」「研究」「教育実践」「随想」「同好会の歩み」「寸感・文芸」「支会だより」「視察報告」「会暦」「石井鶴三美術資料室だより」等を掲載した。

四 反省とまとめ

- 1 今年度は、小学校4名と中学校4名で活動を行った。原稿依頼と原稿回収はメールで行うため、支会ごとではなくてもよい。ただし、8名以上の委員は必要。
- 2 学校代表アドレスへのメール配信のみで原稿依頼を行った。そのため、これまで原稿依頼文を印刷し、封入して宛名を書く作業にかかっていた手間を省くことが出来た。
- 3 推進係と委員長が連絡を取り合い、相談を重ねたことで作業が確実に進んだ。
- 4 会報は年2回（7月・12月）発行し、会誌は年1回（3月発行予定）であった。教育会役員・世話係・代議員・執筆会員・教育会館職員・信教印刷の方々の協力により充実した機関誌となった。心から感謝申し上げます。